

平成19年、新年明けましておめでとうございます。

昨年8月に携帯電話とパソコンから「診察の順番取りができる*アイチケット*」方式が導入されましたが、ご利用になっていかがでしょうか？多くの患者さんからは「待ち時間が短くなった」とご好評です。今年も少しずつ不備な点を改善していくよう努力していきますので、スタッフ共々宜しくお願いいたします。

さて、「ノロウイルス」による 感染性胃腸炎の対策は？

昨年10月頃から全国的に「ノロウイルス」による嘔吐・下痢症状の感染性胃腸炎が大流行中です。例年より早く発生し、患者数も例年の2.5倍になるようです。沖縄では「ユタウイルス」と言いますが(ウソです)、やはり急性胃腸炎の子ども達が多く受診していますので、大部分「ノロウイルス」が原因と思われます。

「ノロウイルス」に感染しないためには、まず他の人に広がること(二次感染)を防止する事が大切です。

Q: どうやって感染するの？

① 汚染された貝類を十分に加熱調理しないで食べた。②調理を行う人が感染していた。③汚染された井戸や簡易水道など。④患者のふん便や吐物から人の手を介して。⑤人から人へ飛沫感染など。

①、②、③は食品や水を介した食中毒の原因となり、④、⑤は急性胃腸炎の原因にもなります。

Q: 二次感染予防の基本は？

(1)トイレの後は手を洗いましょう。ポンプ式石けんや水道の蛇口、トイレのドアノブ、水洗レバーなどが感染源となります。必要に応じて消毒を。

下痢したおむつを交換した後は、すぐに手洗いを。便には直接接触せず、床にも汚れが広がった疑いがある時は、消毒します。

(2)食事作りの前、食事をする前に手洗いを。加熱できる物は十分加熱し、食器や調理器具も洗浄後熱湯(85℃、1分以上でOK)をかけたり、または消毒液につけ、その後水洗いを。

(3)お風呂の前に、お尻を清潔に。湯船につかる前に、まずお尻を良く洗うこと。患者は一番最後に入ること。他の家族と混浴をさげ、タオルの共用はやめましょう。風呂場の洗面器や椅子なども清潔にそして熱湯消毒を。

(4)汚染された下着、衣類、寝具の洗濯と消毒。他の家族の物とは別に洗濯します。消毒剤か熱湯で消毒する。日光でよく干し、よく乾燥させる。



(5)遊びの注意。下痢をしているときは、集団で遊ぶのは控えましょう。口に運ぶおもちゃは清潔に、必要に応じて熱湯消毒を。

消毒液(塩素系漂白剤の次亜塩素酸ナトリウム6%:ハイターやブリーチなど)の作り方

0.02%液(便器、トイレのドアノブ、下着、衣類、シーツなど):1500mlの水に5ml(キャップ1杯)で300倍希釈液となる。

0.1%液(便や吐物で汚れた便座や床):300mlの水に5mlで60倍の希釈液となる。

(たまなは)